



税理士 細川 拓厚 会員

函館支部

## 農家に生まれ 農業のスペシャリストに

### 1. 農業との出会い、深い縁などについて お聞きしました。

出生地は、北海道河西郡更別村です。開拓農家の長男として生まれました。幼少のころから農業の手伝いをしながら育ち、長じては帯広畜産大学で農業経済学を専攻しました。

昭和49年に大学を卒業し、日本政策金融公庫農林水産事業(旧農林漁業金融公庫)に入庫しました。これよりのち、一貫して農業資金の融資審査を担当しました。

### 2. 税理士となった経緯(税理士試験との 出会い)についてお聞きしました。

日本政策金融公庫に入庫し、最初に配属されたのが福岡支店でした。当時は北海道から列車を乗り継ぎ、2日かけて福岡まで行ったものです。

入庫2年目で、ある法人の審査を指示され、右も左もわからないまま現地調査に行きました。会社に着くと待ち構えた税理士に、決算書を手渡されました。どんな質問がくるかと身構えています。決算書を手にして見るのは初めてで、何を質問したらいいか見当がつかえません。何か聞かなければとあせったものの、今思えば実にピントのはずれた質問しかできず、恥ずかしい思いをしました。

これをきっかけに、金融機関の職員として簿記の勉強をしよう、と決心したのです。簿記の3級から始め2級まではスムーズにいきましたが、1級に入るとチンプンカンプンでした。簿記学校の先生に相談する



細川拓厚会員

と税理士試験に簿記論というのがあると教えられ、なぜか受験を勧められました。

これが税理士試験との出会いですが、税理士を目指そうという意識は全くなく、金融機関職員としての自己啓発目的で勉強していました。緊迫感のない勉強のためか簿記論合格まで3年かかりましたが、職業会計人としての基礎的知識は身に着けたと自己満足しました。

しかしこれだけでは、貸付先の社長や経理担当者と同様に話せません。決算書の作成方法や表示のルールが、わからないのです。そこで財務諸表論の勉強をスタートし、これも3年かけて合格しました。

次に、実務は税法に従って動いているのだから法人税を知らなければならないと思い、法人税の勉強を始めます。この頃は公庫の中堅職員となっていたため仕事量も多く、毎夜10時から11時頃まで残業、自宅に帰れば3人の子供の相手をして…という生活が続きました。7年目にようやく法人税に、合格しました。自己啓発目的の勉強と割り切り、税理士受験は職場では口外せずに通しました。



北斗市（旧大野町）法亀寺の一本桜

税理士を意識するようになったのは、仙台支店勤務時代に合格科目が4科目に達してからでした。

平成10年、24年間勤務した日本政策金融公庫を退職し、妻の実家がある北斗市（旧大野町）に転居しました。当時北海道拓殖銀行が破綻した時期でもあり、転職することに非常に大きな不安がありましたが、幸い快く受け入れてくれる会計事務所があり、税理士業の色々な実務を勉強しながら最後の科目に合格し、平成13年に独立開業しました。

### 3. 農業について思うこと、をお聞きしました。

税理士として開業するまで農業以外の業種ほとんど接触する機会がなかったので、最初の頃は商工業者のお客さんと話すとき戸惑いを覚えました。農業以外の産業に関する融資は仕組みも単純で、短時間で可否が出ることに改めて感動しました。

税理士として外から農業を見たとき、農業は産業としてまだ自立していないと感じたものです。

次第に、農業関係の研修講師を委嘱される機会も多くなり、それを機に農業関係のお客が増えていきました。現在は関与先の過半が個人農家、農業関連の法人等です。

### 4. TKCメニューの実践についてお聞きしました。

開業時からTKCに入会し、勧められているメ



事務所脇の堤防沿いの桜

ニューは全部こなすことを目標にしてやってきました。特に、自計化には注力しました。また、7000プロジェクトについても8件実践しています。

税理士になるのも大変ですが、どのような税理士になるかがより大変かつ重要な課題です。50歳にして開業しここまでやってこれたのは、TKCのおかげであると思っています。

### 5. 仕事と人生を彩るその他のことについてお聞きしました。

思い起こせば開業してから多病でしたが、必ずしも多難とはせず乗り越えてこれてきました。大動脈弁狭窄症・黄斑円孔・ヘルニア・変形性膝関節症・巻爪・上顎洞炎…。

我ながらよくやったものだと思います。

農家に生まれ畜産大学に学び、農業関連の政府系金融機関に勤め、農業に特色のある税理士に転身する、それぞれのターニングポイントで様々な偶然がありました。人生は偶然の積み重ねです。その中で、基本に忠実に、そして家族仲良くやってゆくことを座右の銘としています。

現在の事務所は、旧大野町建設会館が北斗市合併のとき売りに出されたものを購入しました。大野川の堤防沿いに位置しています。春になると堤防沿いに八重桜が咲き誇る景観はなかなかのもの、と気に入っています。

（函館支部 鎌田ふくみ）